



# と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」

4月1日よりホームページが移転・リニューアルしました。ブックマークの変更や再登録をお願いします。



高岡市立戸出東部小学校  
令和5年8月28日発行

## 1 学期・学校評価より

教頭 渋谷 圭祐

1学期末に実施いたしました学校評価の結果をお知らせします。

### 1 学校に行くのが楽しい

児 89.2%

保 88.4%

「学校に行くのが楽しい」と答える児童・保護者の割合は、共に9割に迫っており、様々な学習活動や学校行事の成功が相乗効果を生んでいるものと考えられ、大変嬉しいことです。

### 2 進んで挨拶や返事をしている

児 90.3%

保 80.9%

### 3 進んで運動をしている

児 90.8%

保 75.7%

### 4 進んで学習をしている

児 91.4%

保 61.8%

「進んで挨拶や返事をしている」と評価している児童の割合は、学年が上がるほど高くなっており、児童の成長と共に、社会性や自己肯定感が育まれていることがうかがえます。一方、「進んで運動する」では、学年が上がるにつれ保護者の肯定的評価が低くなっていることが分かりました。運動に苦手意識をもつ児童でも主体的に運動に取り組めるよう、運動に親しむ機会の確保に努めていきます。また、「進んで学ぶ」では、保護者の評価が児童より30ポイント近く低くなっており、家庭において自ら意欲的に学習に取り組む様子が見られなかったり、自主学習の頑張りが家族に伝わっていなかったりすることがその理由として考えられます。

### 7 早寝（9時/9時半/10時）をしている

児 80.5%

保 71.1%

### 8 早起き（6時半まで）をしている

児 91.4%

保 85.5%

早寝・早起きについては、学年が上がるにつれ、保護者の肯定的評価が低くなる傾向にありました。けじめのある生活と、成長に欠かせない睡眠時間の確保を心がけたいものです。

### 6 学校であったことを家族で話している

児 87.0%

保 86.7%

### 9 テレビやゲームの時間を決め守っている

児 81.1%

保 53.2%

「テレビやゲームの時間を決め守っている」では、児童と保護者で大きく評価が分かれたものの、昨年度比で10ポイント以上差が縮まりました。自由記述でも、テレビ・動画の視聴やインターネット使用、ゲームの時間について懸念する意見が多く見られたことから、家庭において約束事を決めるなど、引き続き協力をお願いします。私たち大人が小学生だった頃と現在を比較して大きく異なる環境の一つ挙げるとすれば、スマートフォンやパソコンを介したインターネットのサービスの有無ではないかと思います。これらのサービスは、簡単に、際限なく使えるように考え抜かれた工夫がなされています。動画アプリではAIが関連動画を自動再生し次々見せようとするし、ゲームアプリではログインボーナス等を付与することで毎日続けて遊びたくなるようにできています。付き合い方を児童に丸投げせず、一緒に考えていただければ幸いです。

また、今回の学校評価では、項目毎の相関（例えば「気温が上がると、かき氷の消費が増える」などのように、一方が変われば他方も変わるといった関連性の強さ）も数値化して分析しました。その結果、「家庭学習を学年×10分以上している」と、「早起きをしている」「テレビやゲームの時間を決め、守っている」の関連は、児童・保護者とも強いことが裏付けられました。生活リズムを整え、自律の力（けじめ）を育むことが、これからの情報社会を生き抜くうえで欠かせないことであると考えます。

### 5 家庭学習を「学年×10分以上」している

児 92.4%

保 72.3%

### 10 きまりやルールを守って生活している

児 94.1%

保 81.5%

さらに、「家庭学習を学年×10分以上している」児童や「きまりやルールを守って生活している」児童の多くが、「学校に行くのが楽しい」と答えており、主体的な学習や規律ある生活が、学校生活全般への意欲につながっていると考えられます。

2学期も児童を健やかに育ていけるよう、教職員一同力を合わせていきます。ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。